

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日

2021年7月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	二戸市		代表者名	藤原淳
担当者部署	総合政策部		連絡先電話番号	0195-23-3111
担当者役職	副主幹	担当者氏名	長谷川勝	連絡先E-mail
住所	028-6192 岩手県二戸市福岡字川又47番地			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	高村 弘史
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体の実情に精通した内容で講義がなされており、受講者たちに伝わりやすかった。自治体DX推進計画に基づく情報化推進計画の策定、システム標準化に向けて取り組むべき事項について分かりやすい説明だった。
アドバイザーへの要望事項	

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年7月5日	13時30分	15時30分		120
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	いわて北自治体クラウド協議会所属9自治体職員	11人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	システム標準化に向けて、期間や労力、専門知識が不足している中で情報収集を行い、迅速に対応していく必要がある。情報化推進にあたっては、小規模自治体で費用対効果のメリットが出にくい部分があるが、着実に進めていく必要がある。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	システム標準化をより効率的に、将来にわたってもより経済的な形で進めていく。自治体DX、情報化推進にあたっての共通認識の醸成を目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	システム標準化に向け、現在の業務の分析手法について事例紹介を受けた。情報化推進にあたっては、小規模自治体での情報化推進計画などの事例紹介を受けた。	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	1回目の研修を受け、各自治体の受け止めや考え方を講師にフィードバックし、それに対するコメントや具体的な事例紹介などを受けたことにより、情報化推進、基幹業務標準化に対する理解が深まった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	なし	

アンケートの内容と分析結果
 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)
 アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。
 途中段階であり、現時点でアンケート行っていない。

5-3. 今後の計画
 最も当てはまるものリストより選択下さい
 ③現段階では課題・問題が残っているため未定

事業の最終的な目指す姿

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
 今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

